

令和4年度 第1回 蕨市総合教育会議

蕨市における外国語及び 国際理解教育について

令和4年10月21日（金）

蕨市教育委員会学校教育課

蕨市における 外国語及び 国際理解教育 について

- 1 ALTについて
- 2 GTECについて
- 3 ICTを活用した
国際交流事業について

蕨市における 外国語及び 国際理解教育 について

1 ALTについて

2 GTECについて

3 ICTを活用した国際交流
事業について

(1) ALTの 配置状況

平成26～平成29年度 5名
(小2名、中3名)

平成30～令和元年度 7名
※移行期間 (小4名、中3名)

令和2年度～ 10名
※新学習指導要領全面实施 (小7名、中3名)

直接雇用で優秀なALTを確保

(2) ALTの 役割及び 活用状況

- ①小・中学校における外国語、
外国語活動における、教員の補助
- ②児童生徒への外国語学習の指導
・支援
- ③外国語及び国際理解教育の推進





蕨市採用ALTの国籍

	フィリピン	アメリカ	イギリス	ネパール	ジンバブエ	ガーナ	エチオピア	日本	計
H26	3	1	1						5名
H27	3	1	1						5名
H28	3	1	1						5名
H29	2	1	1	1	1			1	5名 延べ7名
H30	4	1				1		1	7名
R01	4	1				1		1	7名
R02	6	2	1			1		1	10名 延べ11名
R03	7	1				1		1	10名
R04	7	1	1				1		10名

蕨市における 外国語及び 国際理解教育 について

1 ALTについて

2 GTECについて

3 ICTを活用した
国際交流事業について

GTEC 事業概要

既存の英語力向上事業と英語4技能測定テストにより
新たな英語力向上「仕組みづくり」構築

目標設定

目線合わせ研修会

- 「目指す英語力」「育成すべき子どもたち」の統一
- 国の英語の動きを現場に認知してもらう

振り返り

結果分析会

- 結果から見える指導改善に
- 良き指導を抽出→伝播することで、
市全体の英語力向上に

検証+育成

GTEC+動画コンテンツ

- タブレットを活用した
英語4技能テスト
- 一人ひとりへの英語教材付き
(動画コンテンツ・AI採点)

現状の全小中学校ALT配置事業とも連動

2. 社会の持続的な発展を^{けんいん}牽引するための多様な力を育成する

目標(7) グローバルに活躍する人材の育成

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度や、豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付けて様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成する。

(測定指標)

- ・英語力について、中学校卒業段階で CEFR⁸²の A1 レベル相当以上、高等学校卒業段階で CEFR の A2 レベル相当以上を達成した中高生の割合を5割以上にする
- ・日本人高校生の海外留学生数を6万人にする
- ・グローバルに活躍する人材の育成につながる短期留学者を増加させながら、大学等の日本人海外留学生数12万人を引き続き目指す
- ・外国人留学生数30万人を引き続き目指していくとともに、外国人留学生の日本国内での就職率を5割とする

⁸² 「ヨーロッパ言語参照枠」を指す。語学シラバスやカリキュラムの手引の作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、包括的な基盤を提供するものとして、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表した。

国の指標は「英検」ではない
＝世界の英語基準である「CEFR」が指標になる

文部科学省 全国学力・学習状況調査

2019~
(31年度)

- ▶ **中学校3年生**対象 (小学校6年生は国語・数学)
- ▶ **英語4技能調査**は**3年に1度**程度実施
- ▶ 調査時間：「**聞く・読む・書く**」：45分程度
「**話す**」：10~15分程度
- ▶ 「**聞く・読む**」：選択式,
「**書く**」：選択式・短答式及び記述式
「話す」：コンピュータやタブレット等を活用

文部科学省 平成31年度
全国学力・学習状況調査

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等(教育委員会、学校法人等)の協力を得て実施するものです。

調査実施日：4月18日(木)

調査の目的
◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容 ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、**英語**)

出題範囲は、調査
それぞれの学年・教科
① 身に付けてま
て不可欠であり

② 知識・技能
立て実践し評価
調査問題では、上

③ 生活習慣や学習
児童生徒
学習意欲、学習方法、学
習に関する調査
(例) 国語・英語への興味・興
味、勉強時間の状況

中学校・英語
読むこと
(4技能)
まとまりある文章から大切な部分を読み取る

7 次の英語は、あなたが見つけたイングリッシュ・カフェ (English Café) という冊子のホームページの一部です。あなたが事前に読んだことを知るためには、この中の1から4のどの部分を読めばよいですか。最も適切なものを1つ選びなさい。

English Café

Free English Program

Date : Sunday, June 3rd
Time : 3.00 p.m. - 5.00 p.m.
Place : City Hall Restaurant

Come to English Café and ...

1 You can enjoy speaking English with people from many countries.
You can learn about their countries: the U.S., Australia, Canada, China, India ...

2 I have a chance to tell them about Japanese traditional English. Please think of something to talk about.

3 ...ing to have some food from other countries.
... as usual, there will be Japanese food, too.

4 If you have any questions about the program:
You can send an email to midori@xxxxxx,
call 0120-xxxx-xxxx, or visit our office at City Hall.

「話す」も含めた「4技能育成」が必須

GTECで 目指すもの

- ・ 中学校英語の成果の可視化
- ・ 事後研修会での「良き指導事例」の共有
- ・ 先生方・子どもたちへの良質なフィードバック
- ・ 市内の先生方に向けた研修会の実施
- ・ GIGAスクール端末で活用できる外国語教材の提供
- ・ AI採点・ライティング指導用の動画コンテンツ
- ・ 一人一人の結果に応じた復習教材の提供



「話す・書く」を含めた英語4技能測定と
PDCAサイクルの構築により英語力育成を推進
する

Speaking テスト



1人1台のタブレット端末の環境で、短時間で
学年全員が学校内の教室でクラス単位で
Speakingの「一斉受験」が可能に

紙教材と Webコンテンツ

付属冊子



冊子から
2次元バーコード+パ
スワード入力で該当の
WEBページへ。

- リーディング、リスニング、ライティングの学習用付属冊子



一人ひとりの結果に応じた
難易度別の推奨ページを提示

WEBコンテンツ



スマホ or PCのWebからアクセス可能

- リーディング、リスニング学習の音源
- スピーキングの学習コンテンツ
- ライティングの学習コンテンツ



GIGAスクール端末で活用できる
「動画コンテンツ」「AI添削」付き

動画コンテンツ

GIGAスクール端末にて一人ひとりが「動画コンテンツ」を見ながら自立的な学習も可能に



- ①Eメールの基本構造（書き方のフォーマット）の説明
↓
- ②Eメールで使える表現の提示
↓
- ③GTEC問題の特徴と採点観点

先生からのコメント

- ・生徒は、Eメールを書いた経験がないし、授業で扱うこともないので、基本構造の説明がよい。
- ・今後入試でもこういった出題が増えていくと思うので、とても役立つ
- ・授業中に見せたい

GIGAスクール端末にて一人ひとりが「AI添削」が可能 生徒一人ひとりがライティングに取り組む時間が増える = 英語力向上に

Writing教材

あなたはアメリカに留学中です。アメリカの友だちから以下のメールを受け取りました。返信メールを、単語のみでなくできるだけ文で書きましょう。

受信メール

From: Karen
To: Tomo
Subject: Film Festival

Hi,
I heard you went to the town film festival last week. How was it? What was your favorite part of it? I'd like to go there with you next year.
Best,
Karen

1つ目の質問への解答

2つ目の質問への解答

返信メール

From: Tomo
To: Karen
Subject: RE: Film Festival

Hi,

英文を入力してください。

Thanks,
Tomo

添削機能は後日リリース予定です。なお、添削結果は「GTCC」の採点内容とは関係ありません。

[添削](#)

[参考例を見る +](#)

[ヒント](#) [Check](#) [日本語訳](#)

今回のメールのやり取りを整理しましょう。Karenからのメールの内容を整理し、「書き出し」「質問」「最後の一言」のそれぞれに対応させて文面を書く。自然な返信メールを作成しやすくなります。

〔Karenからのメール〕
書き出し：先週町の映画祭に行ったと聞いたよ。
質問1：どうだった？

- ① 返信メール全体の英文を入力する（添削機能あり）
- ↓
- ② 新問題（レベル別）（添削機能あり）

返信メール

From: Tomo
To: Karen
Subject: RE: Film Festival

Hi,

I enjoyed the film festival. it was fun. I liked the cat movie the best. Let's go together next time.

Thanks,
Tomo

軽微なスペルミスや文法ミスがある箇所には下線が引かれています。スペリングや時制、単複などの誤りがないかもう一度見直しましょう。

[参考例を見る -](#)

I'm really glad I went to the festival! It was very good. My favorite part was the movie about a cat. Let's go there together next year.

解説

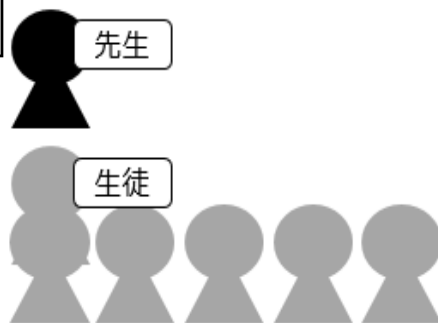
書き出しの部分では、I'm really glad I went to the festival! など映画祭に行った感想を述べると流れが自然。最後の一言には、KarenのI'd like to go there with you next year.に対する返事として、Let's go there together next year.などを入れると、自然なコミュニケーションになるでしょう。

添削について

スペリングのミス・大文字小文字ミス・三単現のs・単複のミス
・スペース抜けなどの間違いについて指摘が可能
今後はwant to doなどの文法事項についても、指摘ができるように開発中

GIGA端末での活用方法

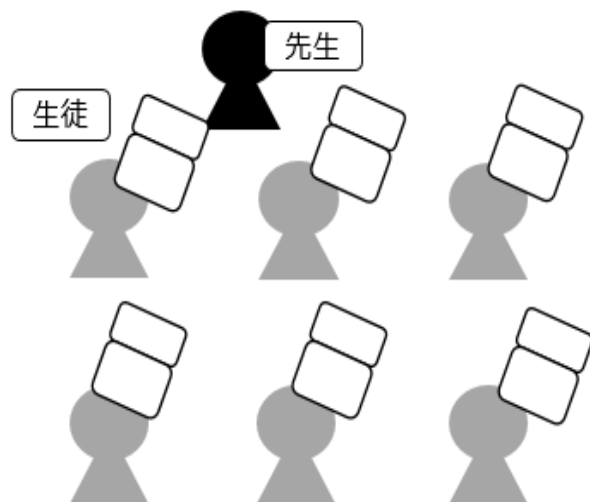
これまで



これまで

忙しすぎて
Writingを添削をする時間がない
Speakingも付き合いきれない...

スキルアップワークがあれば



- ① WritingのAI採点
- ② Writingの動画コンテンツ
- ③ Speakingの音声録音機能

- ・GIGAスクール端末のタブレットで Writing・Speakingの添削が可能
- ・特にWriteは動画で各自で学習ができる

GIGAスクール端末を活用した英語力向上施策に

教員研修 (事前研修)



- ・ 中学校新課程における指導の変化・指導の姿
- ・ 国が求める英語力の姿 等

教員研修 (事後研修)

- GTECの結果に関するベネッセコーポレーションからの情報提供
- グループワーク

<分析>

① 自校のスコアとグレードを記入してください。

技能	スコア	CEFR-J
聞く力		
読む力		
話す力		
書く力		

<手立て>

② 成果や課題について各項目にお答えください。

成果が出ている技能	課題となる技能
力	力

「成果が出ている技能」について、ご自身の授業で効果的だと思う指導方法を教えてください。

「課題となる技能」について、ご自身の授業で改善すべき点を教えてください。

日頃の家庭学習で生徒に課していることを教えてください。
また、その家庭学習は授業とどのように関連づけているか教えてください。

令和3年度 GTEC結果

4技能スコア460点以上の生徒数

	受検者数	460点以上の 生徒数	在籍生徒数	英検3級程度の生徒割合	
				受検者比率	在校生比率
3年生	379	253	438	66.8%	57.8%
2年生	411	203	446	49.4%	45.5%

蕨市における 外国語及び 国際理解教育 について

1 ALTについて

2 GTECについて

**3 ICTを活用した
国際交流事業に
ついて**

エルドラドの中・高校生との交流

- 第二中学校 2年生（155名）
Gold Trail School（中学校）※10～14歳
- 東中学校 3年生（110名）
Oak Ridge High School（高校）※14～17歳

エルドラドの中・高校生との交流



令和4年度 エルドラドの中・高校生との交流予定

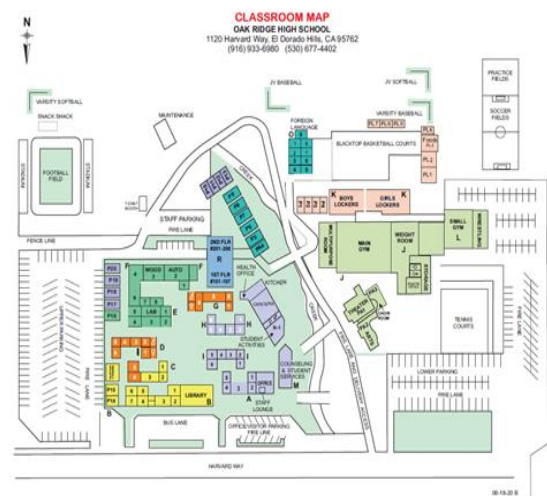
第一中学校

東中学校

Oak Ridge High School (高校)

※14～17歳

 OAK RIDGE HIGH SCHOOL

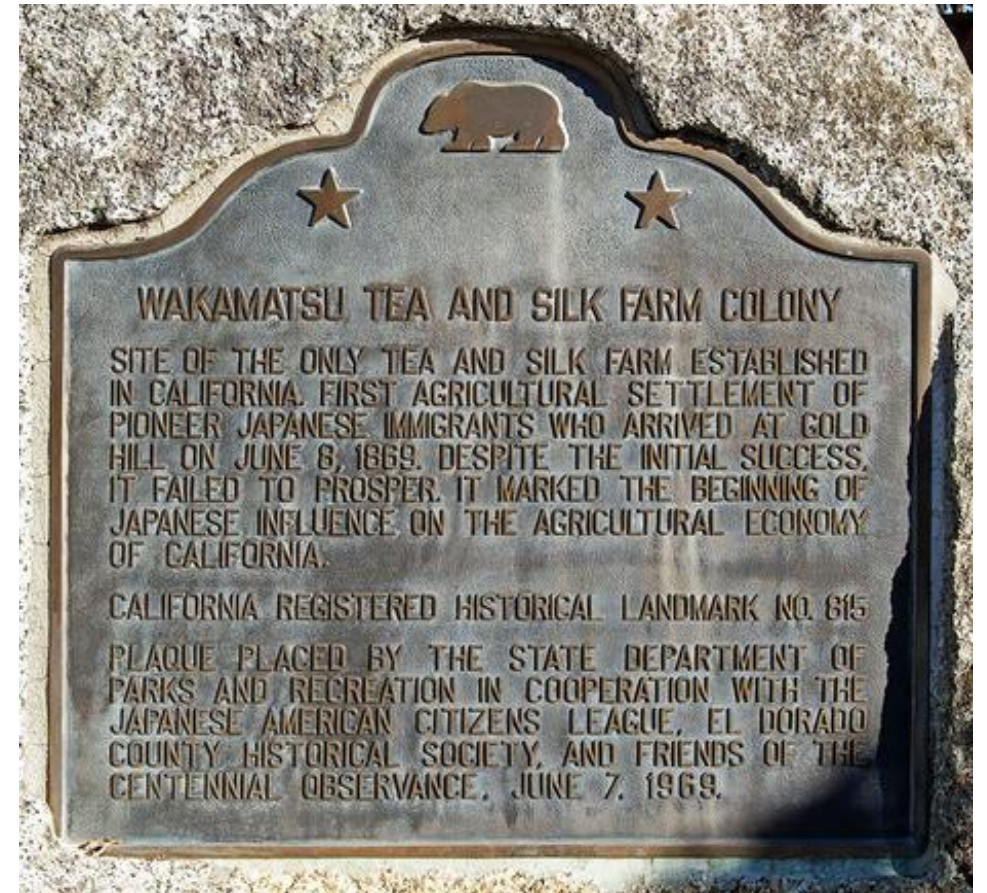


令和4年度 エルドラドの中・高校生との交流予定

第二中学校

Gold Trail School (中学校)

※10～14歳





中央小 ルワンダの子供たちとの交流

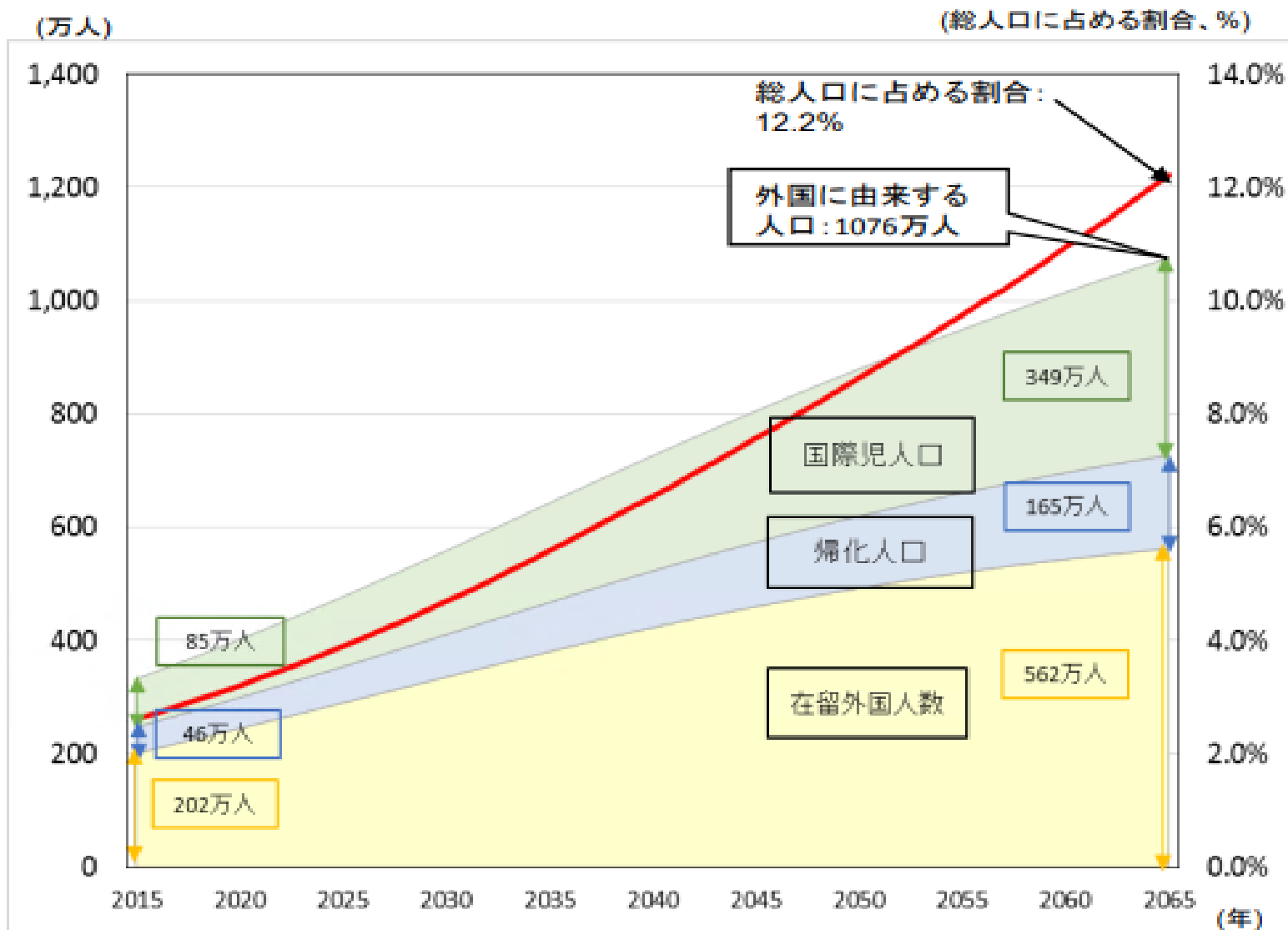


蕨市における
外国語及び
国際理解教育
について

終わりに

グローバル化の進展

- 「外国に由来する人口」は2065年には総人口の12.2%
- 年齢階層別にみると、20-44歳では総人口の総人口の17.9%



(出典) 是川夕,2018,『日本における国際人口移動転換とその中長期的展望－日本特殊論を超えて』,「移民政策研究」Vol.10, pp.13-28

VUCAの時代

先行きが不透明で、将来の予測が困難

- Volatility 変動性：変化のスピードが速い
- Uncertainty 不確実性：予測できない
- Complexity 複雑性：多くの要因が絡み合っている
- Ambiguity 曖昧性：因果関係が不明瞭



Society 5.0

デジタル空間と現実空間の高度な融合—人間中心の社会



動物の飼育を中心とする農業社会(Society 1.0)から、農産物の加工によって農産社会(Society 2.0)が、製造業を中心とする工業社会(Society 3.0)が、コンピュータによる情報社会(Society 4.0)が形成されてきたが、Society 3.0では、コンピュータの進化による「現実空間」と、私たちの暮らしが「デジタル空間」とを高度に融合させることにより、社会をより高い「人間中心の社会」に変えていくことを目指します。(2016年4月現在)

出典：「令和3年版 科学技術・イノベーション白書 Society 5.0の実現に向けて」(文部科学省)

子供たちに育むべき資質・能力

学習指導要領（平成29年3月告示）前文より

これからの学校には・・・（中略）・・・

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる



ご清聴ありがとうございました。